

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 11 月 12 日

作成者：(株) 廃棄物工学研究所

 	【施設名称】 わさ環境公園
	【事業主体】 INE OASA(NPO 法人)
	【所在地】 INE OASA 広島県北広島町大朝 2487 TEL0826-82-3950 FAX0826-82-3688 ine@oasa.jp
	【運転開始年】 平成 13 年
原材料	廃食用油（家庭、飲食店、学校給食、庁舎など）
生産物（種類）	バイオ・ディーゼル燃料 （メチルエステル燃料）
利用方法	ディーゼル・エンジン代替燃料
導入目的・経緯	資源循環型社会の構築を目指す中で、菜の花 E C O プロジェクトの実践・実証を行い、地域資源の発掘と地域活性化を目的とする。
設備仕様	バイオ・ディーゼル燃料製造装置 エルフ A 2 型-100L
稼働状況	年間 125 日程度、4h / 日 実績処理量：12,500L / 年 実績製造量：9,500L / 年
経済性関連データ	初期投資額：約 600 万円（機器、電気工事）
導入効果	廃食用油は、家庭ごみで一番処理に困るものといわれる、その廃食用油を地域のエネルギーとして、有効に活用していくことは、話題性もあり注目を浴びた。長期的な視点から見ても、地域住民のリサイクル活動への啓発やゴミ処理費用の削減効果など、地域活動や地域経済への影響も大きいと思われる。
運営上の課題	バイオ・ディーゼル燃料と軽油とを混合して使用した場合の、軽油引取税の取り扱いは、広く一般への使用に弊害となっている。 バイオ・ディーゼル燃料の品質の向上と安定
備考	NEDO：バイオマスエネルギー導入ガイドブック 画像： http://www.nanohana.gr.jp/file/map2003/31.html